

産業廃棄物処理計画書

2012年 6月26日

愛知県知事 殿

提出者

住所 愛知県名古屋市中村区椿町17-16

氏名 石黒建設株式会社名古屋支店

支店長 道本喜一

電話番号 052-300-1496

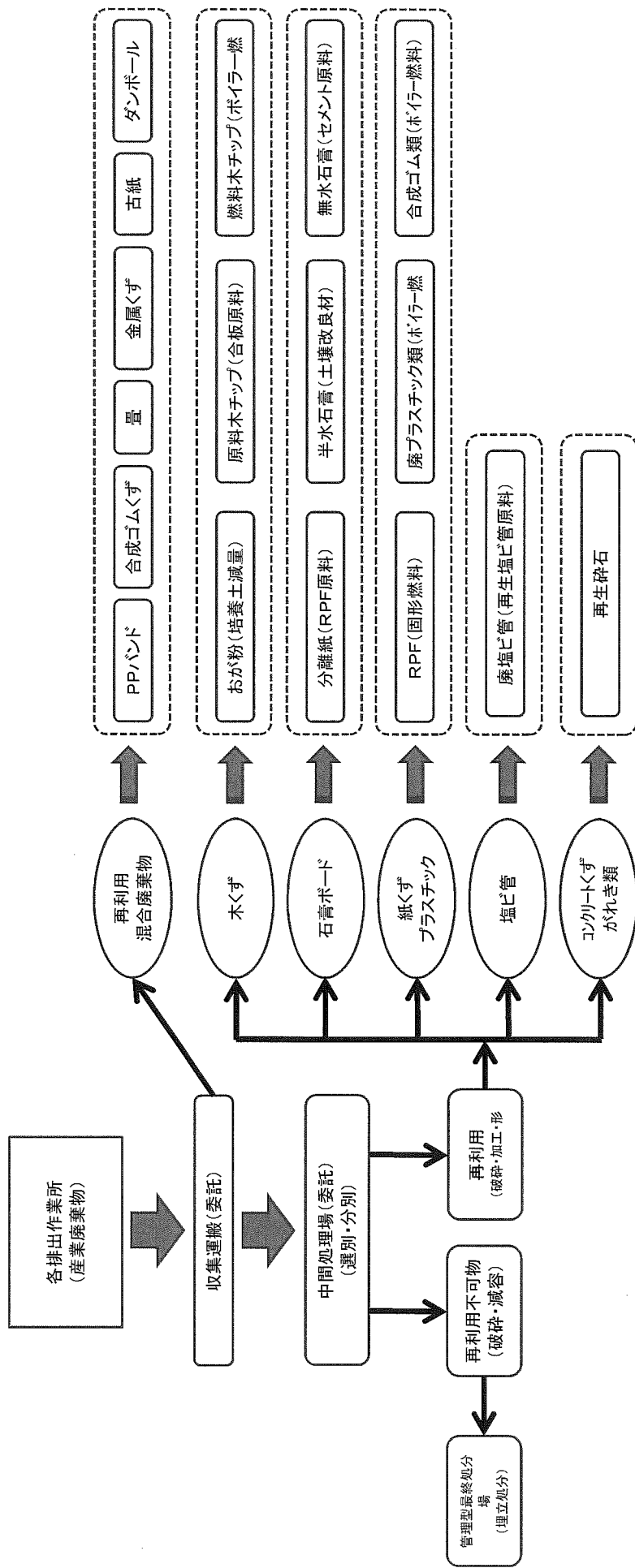
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	石黒建設株式会社名古屋支店
事業場の所在地	愛知県名古屋市中村区椿町17-16
計画期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日

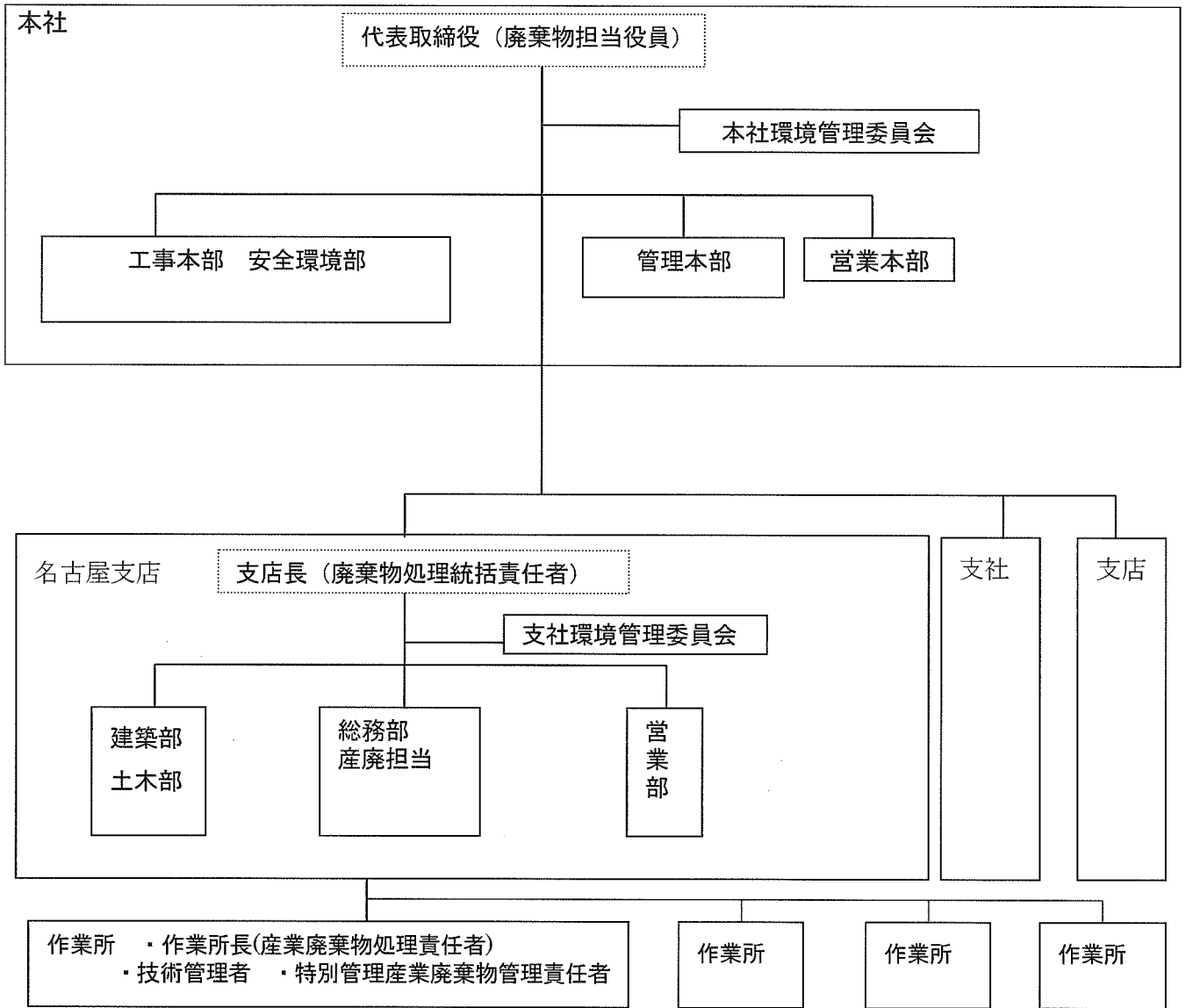
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 1,353百万円
③ 従業員数	12人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①参照

別紙① 産業廃棄物処理フロー図



廃棄物管理組織



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 ( 23年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 工法の検討 ・ 施工順序、方法の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取組を維持し、継続する		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 木くず ・ 金属くず ・ 紙くず ・ 廃プラ類 コンテナBOX投入時に分別管理		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 上記分別を維持、継続する		

## 管理体制（廃棄物処理に関する管理組織等）

	統括責任者	所 属：名古屋支店 職・氏名：支店長 道本喜一
	廃棄物担当	組織名：総務部総務課 組織人数：1人
役 割	支社環境管理委員会	○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、減量化、循環利用(再使用・再生利用・熱回収)、 適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検 討する。 ・委員長—支店長 ・委員—関連部署部課長、各作業所長 ・事務局—総務部総務課
	廃棄物処理統括責任者	○廃棄物処理方針の策定 ○本店の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理担当者	○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理票の交付、管理 ○特別管理産業廃棄物管理責任者、技術管理者等の設置 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育、啓発 ○各作業所に対する情報提供、支援及び指導 ○その他関係する事項

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（ 23年度）実績】</b>		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	排 出 量	837.5 t	38.7 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工法の検討 ・ 施工順序、方法の検討		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	排 出 量	800 t	35 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取組を維持し、継続する		

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	アスコンがら
	排 出 量	14.2 t	43 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工法の検討 ・ 施工順序、方法の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	アスコンがら
	排 出 量	14 t	40 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取組を維持し、継続する		

(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（ 23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	紙くず
	排 出 量	98 t	14 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工法の検討 ・ 施工順序、方法の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	紙くず
	排 出 量	95 t	14 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取組を維持し、継続する		



(第2面)別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	
	排 出 量	10.5 t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 工法の検討 ・ 施工順序、方法の検討		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	
	排 出 量	10.5 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記取組を維持し、継続する		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 23 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（    23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

(第4面)別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	全処理委託量	837.5 t	38.7 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	837.5 t	38.7 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・産廃処理業者の選定を行い、書面契約を交わしている ・処理業者の現状を現地確認する		

## (第4面)別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	アスコンがら
	全処理委託量	14.2 t	43 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	14.2 t	43 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産廃処理業者の選定を行い、書面契約を交わしている</li> <li>・処理業者の現状を現地確認する</li> </ul>		

(第4面)別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 23年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	紙くず
	全処理委託量	98 t	14 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	98 t	14 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・産廃処理業者の選定を行い、書面契約を交わしている ・処理業者の現状を現地確認する		

(第4面)別紙

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（ 23年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	石膏ボード	
	全処理委託量	10.5 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10.5 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・産廃処理業者の選定を行い、書面契約を交わしている ・処理業者の現状を現地確認する		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			



②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	廃プラスチック類
	全処理委託量	800 t	35 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用者への 処理委託量	800 t	35 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・混合廃棄物以外は、再生処理業者へ処理委託する ・混合廃棄物の選別・破碎等を実施し、再生比率の高い処理業者へ委託する ・処理業者の現状を現地確認する		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	アスコンがら
	全処理委託量	14 t	40 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	14 t	40 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状を維持し、継続する ・工事の一過性のもので、今後減量する ・処理業者の現状を現地確認する		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物	紙くず
	全処理委託量	95 t	14 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	95 t	14 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状を維持し、継続する ・工事の一過性のもので、今後減量する ・処理業者の現状を現地確認する		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	
	全処理委託量	10.5 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	10.5 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状を維持し、継続する ・工事の一過性のもので、今後減量する ・処理業者の現状を現地確認する		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。